

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 9月21日 作成

		担当課	福祉グループ					
事務事業名		健康づくり推進費			施策コード	44242101		
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	いきいき健康ふくしま		
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他
	財務名称	健康づくり推進費			方法	直営		
事業概要	(1) 健康づくり推進員の配置				(2) 健康フェスティバル			
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）				(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）			
	全町民				(1) 広報やチラシにより健康に対する知識の普及 (2) 健康フェスティバルの実施			
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）				(1) 町民の健康増進を図る。 (2) 疾病の早期発見			
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）				計	3	点	
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	(1) 町とフェスティバル実行委員会の事業			1点
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		(1) 町民の健康意識の向上と福祉の増進を図る上で必要不可欠である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等				計	1	点	
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		(1) 健康に関する意識が深まる。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性				計	3	点	
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		(1) 推進員は各種健診の声かけ及び健康づくりの普及活動をしている。 (2) 健康フェスティバルは、健康への気づきを与える機会として有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定				計	1	点	
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	実施回数	回	1	1		
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	健康づくり推進員	人	40	40		
		(算式)						
		指標	参加人数	人	324	250		
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点		(1) 各町内会に健康づくり推進員の配置により町民の健康意識が高まる。			
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

